

環境経営レポート

[対象期間：2023年1月～2023年12月]



2024年2月1日



井手運送有限公司

本社
轟木営業所
鳥栖営業所
基山営業所

1. 組織の概要

1) 事業者名

井手運送有限会社
代表取締役 井手郁夫

2) 本社及び営業所と所在地

本社 福岡県小郡市小板井309番地1

3) 認証登録範囲

鳥栖営業所 佐賀県鳥栖市原町999番地1
(桜町事業所、第6・7・原町南倉庫、第1・2定温倉庫含む)

轟木営業所 佐賀県鳥栖市轟木町四本松1825番地2
(村田車庫、轟木倉庫含む)

基山営業所 佐賀県三養基郡基山町大字園部 2459番地11
(基山倉庫含む)

本社 福岡県小郡市小板井309番地1

4) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者: 谷誠一郎 庶務課長
事務局 (窓口): 谷誠一郎
連絡先電話 0942-72-3171 FAX0942-72-3173

5) 事業内容

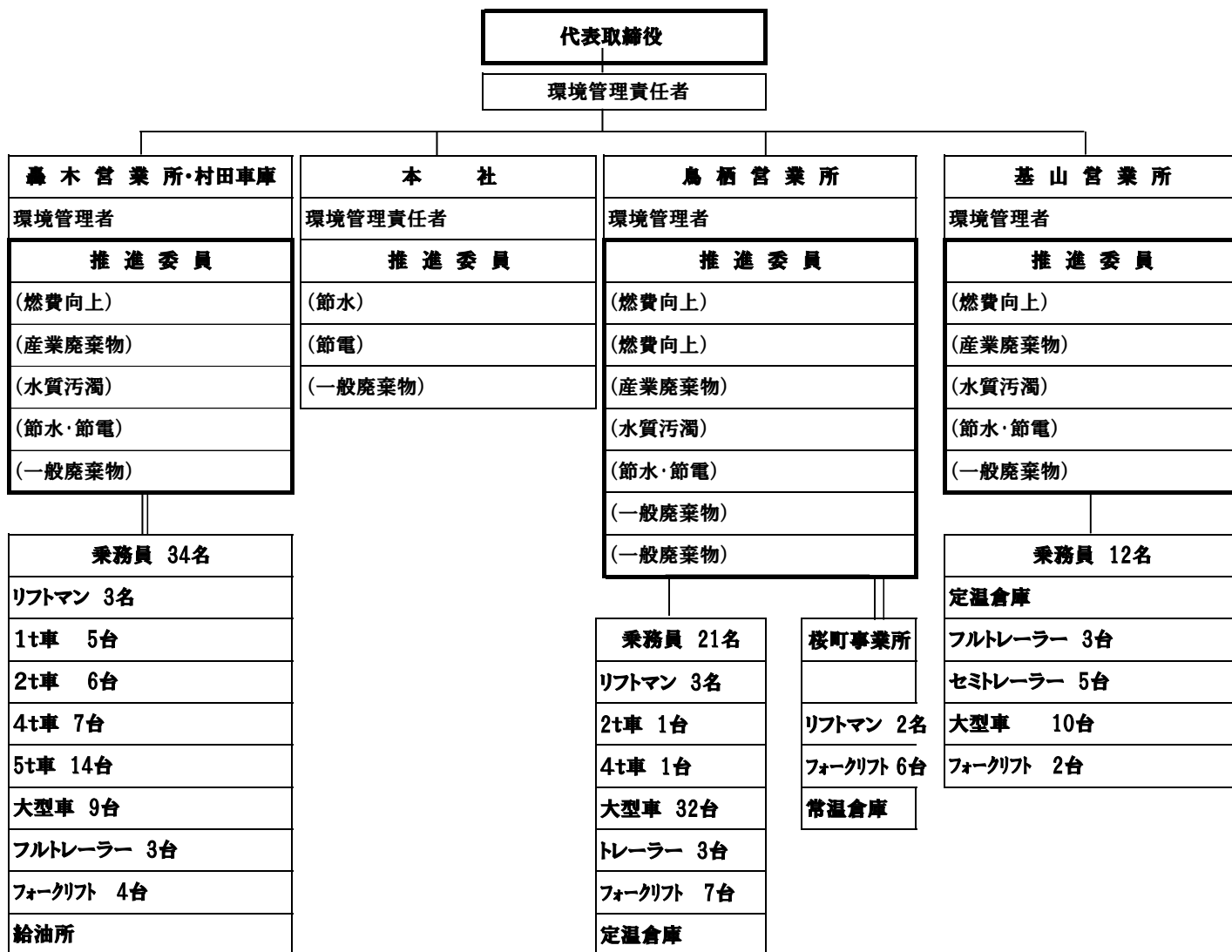
一般貨物自動車運送業・貨物取扱業・倉庫業
資本金 6600万円

6) 事業規模

活動規模	単位	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高	百万円	1,937	1,902	1,854	1,816	1,846
従業員	人	131	124	114	110	109
床面積	m ²	14,241	14,241	14,241	16,661	15,118
(トラック台数)	(台)	116	109	109	108	99
対象事業所		全社	全社	全社	全社	全社

7) 認証登録の対象範囲

全組織・全活動



EA21 役割分担表	
担当職名(所属・役職)	役割・責任・権限
代表者(本社・代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定・変更、環境経営システムの構築と運用、全体の評価と見直し
環境管理責任者(本社・課長)	全体の把握、環境経営システム構築・運用の提案・助言、環境管理者との連携・協力
環境管理者(基山営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(鳥栖営業所・統括部長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(轟木営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
推進委員(各営業所)	具体的な担当分野の管理をし、各環境管理者へ報告及び相談し、問題・改善を図る/月次レポートを作成し、本社へ報告、全社的には半年に1回そのレポートを元に状況分析・対策協議・改善を行う

環境経営理念

我々人類の将来にとって大きな脅威となっている環境問題に企業として取り組み、持続可能な安心で安全な社会に貢献する。

環境経営方針

環境問題への取組は継続的な企業活動の必要条件である。経済活動を維持発展させるためには社員一人ひとりが日々の業務で環境に与える影響を意識し、二酸化炭素削減・節水・廃棄物削減・緑化の維持管理など環境負荷を軽減する義務に取り組む。

また、環境問題に取り組むことが経営に好ましい影響を及ぼすことを認識してもらい、物流企業として地域環境の保全に寄与、社会的責任を果たす。

行動指針

- 1 環境負荷軽減活動において組織図及び役割分担による積極的な推進
- 2 急速に悪化している環境の啓蒙と環境経営方針の周知
- 3 環境負荷(二酸化炭素・水・廃棄物)の削減
- 4 交通事故・労働災害を撲滅し環境負荷を発生させない
- 5 環境負荷の低減に配慮した物品、再生可能エネルギーの積極的導入
- 6 環境関連法規の理解と遵守

制定日:2006年4月1日

改定日:2021年3月1日

改定日:2024年1月31日

井手運送有限会社

代表取締役 井手 郁夫



3.環境経営目標(全社)

環境目標	単位	基準年実績 (2022)	2023年目標 値	2023年目 標基準年 度削減率	2024年目 標基準年 度削減率	2025年目 標基準年 度削減率
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,512,982	3,430,640	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(1) 購入電力						
事務所	電灯 kWh	49,393	48,158	-2.5%		
	電力 kWh	31,660	30,868	-2.5%		
倉庫	電灯 kWh	59,557	58,068	-2.5%		
	電力 kWh	189,764	185,019	-2.5%		
合計	kWh	325,385	322,115	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(2) 軽油使用量						
トラック	kL	1,255	1,224	-2.5%		
リフト	kL	22	22	-2.5%		
合計	kL	1,277	1,246	-2.5%	-3.0%	-3.5%
(3) LPG使用量						
事務所	m ³	291	284	-2.5%		
リフト	m ³	8,878	8,656	-2.5%		
合計	m ³	9,169	8,939	-2.5%	-3.0%	-3.5%
2. 燃費向上						
(1) トレーラー	km/L	2.50	2.59	3.5%	4.0%	4.5%
(2) 大型車	km/L	3.46	3.58	3.5%	4.0%	4.5%
(3) 中型車	km/L	5.17	5.35	3.5%	4.0%	4.5%
(4) 準中型	km/L	10.32	10.68	3.5%	4.0%	4.5%
(5) 普通車	km/L	11.35	11.75	3.5%	4.0%	4.5%
3. 廃棄物削減						
(1) タイヤ	本/10万km	7.19	6.94	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(2) 紙の使用	kg	1,779	1,717	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(3) ゴミ排出	kg	1,229	1,186	-3.5%	-4.0%	-4.5%
4. 水使用量削減						
(1) 上水道	m ³	735	710	-3.5%	-4.0%	-4.5%
(2) 井戸水	m ³	387	378	-3.5%	-4.0%	-4.5%
合計	m ³	1,122	1,083	-3.5%	-4.0%	-4.5%
5. 環境負荷の低減						
(1) 事故	回	19	10	-50.0%	-50.0%	-50.0%
(2) 車両修繕費	千円/千km	11,733	10,793	-8.0%	-8.5%	-9.0%
(3) コピー枚数	枚	314,875	299,131	-5.0%	-5.5%	-6.0%
			0			
6. 環境に配慮した活動						
(1) 山林保護	回	0	4	4	4	4
(2) 清掃活動	回	2	4	4	4	4
特記事項(各排出係数)						
(1) 購入電力	0.613 kg-CO2/kWh 九電、2013年の実排出係数					
(2) 軽油使用量	2.580 kg-CO2/L					
(3) LPG使用量	2.070 kg-CO2/m3					

4.環境経営目標とその実績(全社)

p-5

環境目標	単位	2023年目 標 ①	2023年実 績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較		
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,430,640	3,187,521	100%	243,119	93%	○
(1) 購入電力							
事務所	電灯 kWh	48158	51,935	1%	-3,777	108%	×
	電力 kWh	30868	28,235	1%	2,633	91%	○
倉庫	電灯 kWh	58068	63,511	1%	-5,443	109%	×
	電力 kWh	185019	198,124	4%	-13,105	107%	×
合計	kWh	322115	341,805	7%	-19,690	106%	×
(2) 軽油使用量							
トラック	kL	1224	1,129	91%	95	92%	○
リフト	kL	22	20	2%	2	90%	○
合計	kL	1246	1,148	93%	98	92%	○
(3) LPG使用量							
事務所	m ³	283.658	324.5	0%	-41	114%	×
リフト	m ³	8,656	7,063	0%	1,593	82%	○
合計	m ³	8,939	7,388	0%	1,551	83%	○
2. 燃費向上							
(1) トレーラー	km/L	2.59	2.62		-0.03	101%	○
(2) 大型車	km/L	3.58	3.40		0.18	95%	×
(3) 中型車	km/L	5.35	5.01		0.34	94%	×
(4) 準中型	km/L	10.68	9.94		0.74	93%	×
(5) 普通車	km/L	11.75	11.18		0.57	95%	×
3. 廃棄物削減							
(1) タイヤ	本/10万km	6.94	6.83		0.1	98%	○
(2) 紙の使用	kg	1716.5	1,595		122	93%	○
(3) ゴミ排出	kg	1185.5	1,215		-29	102%	×
4. 水使用量削減					0		
(1) 上水道	m ³	710	799		-89	113%	×
(2) 井戸水	m ³	378	422		-44	112%	×
合計	m ³	1083	1,222		-139	113%	×
5. 環境負荷の低減							
(1) 事故	回	10	15		-5	150%	×
(2) 車両修繕費	千円/千km	10,793	12,761		-1,968	118%	×
(3) コピー枚数		299,131	329,430		-30,299	110%	×
		0					
6. 環境に配慮した活動							
(1) 山林保護	回	4	0		4	0%	
(2) 清掃活動	回	4	2		2	50%	
特記事項(各排出係数)							
(1) 購入電力	0.613 kg-CO2/kWh	実績CO2排出率		鳥栖	38%		
(2) 軽油使用量	2.580 kg-CO2/L			轟木	32%		
(3) LPG使用量	2.070 kg-CO2/m3			基山	30%		
				本社	0%		

4.1.環境経営目標とその実績(鳥栖営業所)

環境目標	単位	2023年目標 ①	2023年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,349,267	1,221,876	100%	127,391	91%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	12,185	12,993	1%	-808	107%	×	
	電力 kWh	10,335	10,044	1%	291	97%	○	
倉庫	電灯 kWh	33,830	33,943	2%	-113	100%	○	
	電力 kWh	116,320	136,202	7%	-19,882	117%	×	①
	合計 kWh	172,670	193,182	10%	-20,512	112%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	474	420	89%	54	89%	○	②
リフト	kL	1	2	0%	-1	177%	×	
	合計 kL	475	422	89%	53	89%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	2	6	0%	-4	368%	×	③
リフト	m ³	8,656	7,063	0%	1,593	82%	○	
	合計 m ³	8,657	7,069	0%	1,588	82%	○	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.24	2.57		-0.33	115%	○	
(2) 大型車	km/L	3.50	3.38		0.12	97%	×	
(3) 中型車	km/L	5.31	4.92		0.39	93%	×	
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	7.11	9.79		-2.7	138%	×	
(2) 紙の使用	kg	817.8	860.0		-42.2	105%	×	
(3) ゴミ排出	kg	185.3	201.0		-15.7	108%	×	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	300	346		-46	115%	×	④
(2) 井戸水	m ³							
	合計 m ³	300	346		-46	115%	×	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	4	6		-2	150%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	9,100	10,651		-1,551	117%	×	
(3) コピー枚数	枚	167,096	193,830		-26,734	116%	×	⑤
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%	○	
(2) 清掃活動	回	1	1		1	100%	○	

結果の評価

- ① 定温倉庫の入出庫回数増加に伴う 開閉増加
 - ② 仕事量・輸送量減により軽油使用量減少
 - ③ シャワー室の利用増加
 - ④ 2023年6月 原町南倉庫の新設
 - ⑤ FAXによる荷主注文の増加、それに伴う出荷指示書のコピー増加
- <参考> 2021年10月 倉庫の屋根に太陽光発電導入
 <参考> 2022年9月 鳥栖第1定温倉庫 下屋 蛍光灯をLEDに取替(11灯)

4.2.環境経営目標とその実績(轟木営業所・村田車庫)

p-7

環境目標	単位	2023年目標 ①	2023年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,061,026	1,009,482	100%	51,544	95%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	8,492	9,525	1%	-1,033	112%	×	
	電力 kWh	10,673	10,167	1%	506	95%	○	
倉庫	電灯 kWh	23,734	29,054	2%	-5,320	122%	×	
	電力 kWh	3,884	4,203	0%	-319	108%	×	
	合計 kWh	46,784	52,949	3%	-6,165	113%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	379	361	92%	18	95%	○	①
リフト	kL	21	18	4%	3	86%	○	
	合計 kL	400	379	97%	21	95%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	168	199	0%	-31	119%	×	②
	合計 m ³	168	199	0%	-31	119%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	3.17	3.04		0.13	96%	×	
(2) 大型車	km/L	3.60	3.37		0.23	94%	×	
(3) 中型車	km/L	5.39	5.10		0.29	95%	×	
(4) 準中型	km/L	10.68	9.94		0.74	93%	×	
(5) 普通車	km/L	11.75	11.18		0.57	95%	×	
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	4.22	4.56		-0.3	108%	×	
(2) 紙の使用	kg	386.0	397.5		-11.5	103%	×	
(3) ゴミ排出	kg	201.2	212.5		-11.3	106%	×	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	224	257		-33	115%	×	
(2) 井戸水	m ³	210	230		-20	110%	×	
	合計 m ³	429	487		-58	114%	×	③
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	5	9		-4	180%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	6,590	8,968		-2,378	136%	×	④
(3) コピー枚数	枚	72,525	75,343		-2,818	104%	×	
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%	○	
(2) 清掃活動	回	1	1		1	100%	○	

結果の評価

- ① 輸送量減少に伴う、使用量の減少
- ② 村田車庫等での暖房用途としての増加
- ③ 車両洗車回数の増加
- ④ ユニック修理、工賃・部品の値上げ

<参考> 2022年7月 倉庫屋根に太陽光発電導入し、CO2発生抑制に寄与

4.3.環境経営目標とその実績(基山営業所)

環境目標	単位	2023年目 標 ①	2023年実 績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,005,026	941,788	100%	63,238	94%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	11,567	12,950	1%	-1,383	112%	×	
	電力 kWh	780	1,040	0%	-260	133%	×	
倉庫	電灯 kWh	504	514	0%	-10	102%	×	
	電力 kWh	64,815	57,719	4%	7,096	89%	○	①
	合計 kWh	77,667	72,223	5%	5,444	93%	○	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	371	348	95%	23	94%	○	②
	合計 kL	371	348	95%	23	94%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m³	114	119.1	0%	-5	104%	×	
リフト								
	合計 m³	114	119.1	0%	-5	104%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.37	2.26		0.11	95%	×	
(2) 大型車	km/L	3.64	3.46		0.18	95%	×	
(3) 中型車	km/L							
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	9.50	6.53		3.0	69%	○	③
(2) 紙の使用	kg	299.2	155.0		144.2	52%	○	
(3) ゴミ排出	kg	295.3	288.0		7.3	98%	○	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m³	91	105		-14	115%	×	
(2) 井戸水	m³	168	192		-24	114%	×	
	合計 m³	259	297		-38	115%	×	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	1	0		1	0%	○	
(2) 車両修繕費	千円/千km	16,690	22,528		-5,838	135%	×	④
(3) コピー枚数	枚	32,999	35,891		-2,892	109%	×	
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		

結果の評価

- ① 入出庫回数減による影響により減少
- ② 輸送量減により軽油使用量減少
- ③ 冬用タイヤへの交換台数減少
- ④ エンジン交換3台、工賃・部品の値上げ

4.4.環境経営目標とその実績(本社)

環境目標	単位	2023年目標 ①	2023年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	15,321	14,375	100%	946	94%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	15,914	16,467	70%	-553	103%	×	
	電力 kWh	9,080	6,984	30%	2,096	77%	○	①
倉庫	電灯 kWh	0						
	電力 kWh	0						
	合計 kWh	24,994	23,451	100%	1,543	94%	○	①
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	-						
リフト	kL	-						
	合計 kL							
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	-						
リフト	m ³	-						
	合計 m ³							
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	-						
(2) 大型車	km/L	-						
(3) 中型車	km/L	-						
(4) 準中型	km/L	-						
(5) 普通車	km/L	-						
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km							
(2) 紙の使用	kg	213.5	182.5		31.0	85%	○	②
(3) ゴミ排出	kg	503.7	513.0		-9.3	102%	×	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	95	92		4	96%	○	
(2) 井戸水	m ³	0						
	合計 m ³	95	92		4	96%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	0						
(2) 車両修繕費	千円/千km	0						
(3) コピー枚数	枚	26,511	24,366		2,145	92%	○	③
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%	○	
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%	○	
結果の評価								
① コロナ禍の影響減に伴いエアコン稼働率の減少								
② 両面コピー、裏紙の利用								
③ コピー機以外のプリンター使用増								

5.環境経営計画(次年度の取り組み内容も含む)

p-10

テーマ	2024年具体的施策と(担当推進委員)	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
1・CO2排出量削減					
(1)購入電力	(節水・節電担当)				
	・節電に対する意識				
	節電の掲示	○	○	○	○
	休憩時間の消灯	○	○	○	○
	使用しない部屋の消灯	○	○	○	○
	気温・気候に応じたエアコンの使用				
	冷気が逃げない断熱ドア開閉の心がけ	○		○	
	・設備導入				
	事務所照明LED化			○	○
	サーキュレーター等での室温調整	○	○	○	○
	・設備点検				
	エアコンのフィルターの定期的な清掃	○	○	○	○
	冷却機のフィルター点検・定期清掃	○		○	
	エアコン室外機の「簡易点検」の3ヶ月毎の実施とその記録	○	○	○	○
(2)燃料使用量	(燃費向上担当)				
	・エコドライブ				
	急発進・急加速や空ぶかしの排除の励行	○	○	○	
	熱中症に配慮したアイドリングストップの励行	○	○	○	
	エコドライブの講習	○	○	○	
	各車両の燃費掲示、燃費向上の啓蒙	○	○	○	
	・効率的な運行計画				
	配車計画の充実	○	○	○	
(3)LPG使用量	(燃費向上担当)				
	・リフト				
	リフト作業中の無駄な空吹き禁止	○			
	電気リフト化の検討	○		○	
	・事務所				
	ガスからIHへの変更	○	○		
2.廃棄物削減					
(1)タイヤ	(燃費向上担当)				
	リトレッド(再生)タイヤの使用	○	○	○	
	空気圧の点検	○	○	○	
	スタッドレスタイヤへの適切な組換え	○	○	○	
	タイヤローテーションの実施	○	○	○	
(2)紙の使用	(一般廃棄物担当)				
	帳票など紙類の削減についての見直し	○	○	○	○
	両面コピーの利用	○	○	○	○
	裏紙使用	○	○	○	○
(3)ゴミ排出	(一般廃棄物及び産業廃棄物担当)				
	分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底	○	○	○	○

5.環境経営計画(次年度の取り組み内容も含む)

p-11

テーマ	2024年具体的施策と(担当推進委員)	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
3.水使用量削減	(節水・節電担当)				
	節水の表示	○	○	○	○
	洗車中の放水の禁止、バケツの使用	○	○	○	
	高圧洗浄機使用の奨励	○	○	○	
4.環境負荷の低減	(所長ほかスタッフ全員担当)				
(1)事故					
	新入社員教育の実施	○	○	○	
	点呼時の注意喚起	○	○	○	
	適性診断の受診	○	○	○	
	安全講習会の実施	○	○	○	
(2)車両修繕費					
	定期点検の確実な実施による故障未然防止	○	○	○	
	エアエレメント、オイルエレメント、エンジンオイル定期交換	○	○	○	
	リサイクル部品の使用	○	○	○	
(3)コピー枚数					
	複数ページを集約	○	○	○	○
	電子化での保存	○	○	○	○
	コピー、プリンター印刷前の確認	○	○	○	○
5.環境に配慮した活動	(所長ほかスタッフ全員担当)				
(1)山林保護					
	牛頸山維持管理により環境に対する意識高揚 (J-クレジット制度の創出者としての森林管理)				
(2)清掃活動					
	3S整理・整頓・清掃)活動の実施	○	○	○	○
	給油スタンド油水分離槽の清掃		○		

作成日:2005.6.29
 更新:2016.12.23
 更新:2017.12.23
 最終更新:2023.12.25

法規、条例、規制	適用施設、設備等	法規等の要求事項			備考	定期評価及び遵守状況	
		届出書名 届出機関	適用条例	適用内容又は規制基準値		良否	確認印
消防法	自家用給油取扱所 (第4類 第2石油類 軽油) (最大容量 20,000L)	鳥栖消防署	法10条～16条 法17条	・消火器10型 3本 ・油分離槽設置 ・毎年気密検査実施 ・防火地域別一指定なし ・用途地域別一準工業地域	鳥栖消防署立入検査一5年毎 危険物取扱者(乙種4類) 井手祥二 鳥栖営業所給油所廃止 2015 11月	良	2023年 12月25日 
廃棄法	産業廃棄物 1. 廃油 2. 金属類 3. 廃プラスチック	未回収時 佐賀県知事	産業廃棄物管理票交付 (マニフェスト票) 法12条3の1、5、7 規則8条の20、21、26、 28、29	・記載事項:廃棄物の種類、荷姿、 最終処分を行う所在地等 ・交付から90日以内(運搬、処理処 分)及び180日以内(最終処分)に 管理票の写しが未返却の場合、 照会確認とともに知事に届ける ・管理票写しの保管:5年間保存	・A、B2、D、E票の返却 ・期間を過ぎて から30日以内 に報告	良	2023年 12月25日 
			委託契約基準 法12条3、4、5項 令6条の2、規則8条4、 4の2、4の3	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約 ・委託契約書には許可書の写し添付 ・委託契約書の保管:5年間保管			
			保管基準 法12条3、4、5項 令6条の2、規則8条4、	・保管場所の表示、60cmx60cm以上 ・産業廃棄物の種類等			
	一般廃棄物(可燃物) 1. 紙類 2. プラスチック 3. 厨芥 一般廃棄物(不燃物) 1. ビン、ペットボトル 2. 雑物(電池等)		鳥栖市条例第12号 鳥栖市規則第13号	市の指定袋に入れる事 1. ビン、ペットボトルは販売業者回収 2. 雑物(電池等)は透明の袋に入れる事	鳥栖市回収 週2回(火、金) 週1回 随時	良	2023年 12月25日 
水質汚濁防止法	自家用給油取扱所	届出		貯油設備等の破損で、油を含む水が公共水域に排出又は地下浸透した場合、応 急処置を講じ速やかに届ける		良	2023年 12月25日
道路運送車両法	定期点検整備		第48条	・3ヶ月点検実施	・点検整備記録簿	良	2023年 12月25日 
	点検整備記録簿		第49条	・点検の日付 ・点検の結果 ・整備概要 ・整備完了日 ・その他国土交通省令で定める事項			
	年次検査(車検)		第58条	・毎年車検	・自動車検査証		
	整備管理者の選任		第50・52条	・2年に1回の講習受講	・運送事業に携わる営業所 毎に各選任1名		
大野城市 自然環境保護条例			第7条	・水源地区及び良好な自然環境を確保 する為、特に保護することが必要な区域		良	2023年 12月25日
フロン抑制規制法 (改正フロン法)	平成27年4月1日施行 業務用エアコン、冷凍冷蔵機器 の管理者(使用者)		法第5条 法第16条 経済産業省・告示第13号	指定製品及び特定製品の管理者の責務。当該特定 製品に使用されるフロン類の適正化に勤める。 ・第1種特定製品のそばに著しい振動を発生する機会等を置かない。 点検・修理するスペースを空けておく。 ・全ての第1種特定製品について簡易点検を3月に1回以上実施 ・7.5Kw～50Kw未満は、定期点検(知見を有するものが実施)を3年に 1回以上。1000t-CO2以上の漏洩は届け出が必要。 ・点検の記録及び引取証明書は、機器を設置してから廃棄したあとも 3年間保存しておく。 ・廃棄物・リサイクル業者に機器を引き渡す時は、引取証明書の写しを作成し 機器と一緒に、渡す。		良	2023年 12月25日 
浄化槽法	対象物:浄化槽 適用部門:基山営業所	佐賀県知事	第11条	・毎年1回定期的に受ける検査で、保守点検や清掃が適正に実施され、機能が十分 に發揮されているかどうかを検査すること。		良	2023年 12 月25日 

参考法規

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- ・H27年 4月 フロン排出抑制法が施行
- ・騒音規正法
- ・振動規正法
- ・悪臭防止法
- ・環境基本法
- ・水質汚濁防止法
- ・大気汚染防止法
- ・道路運送車両法
- ・自動車リサイクル法

環境関連法規などの一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
 また、関係者局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等ありませんでした。

【全体評価】

全社的にはCO2排出削減量は目標を達成できている。CO2排出量のうち93%を占めるものが軽油でCO2削減に大きく影響を及ぼす。反面、燃費は悪化していることからCO2削減には貢献できているとは言い難い。輸送量の低下、人員・車両の減少に伴ったCO2排出量の現象であり、好ましいものではない。

環境に配慮して事業活動に伴う資源・エネルギー消費も抑えることで、コスト削減にもつながる環境経営の重要性を再認識する必要がある。環境負荷に対する従前の評価方法を検討し、社員がわかりやすく、共有できる新しい評価方法を取り入れることも考える。

【見直し・指示事項】

<環境経営方針> 変更なし

<環境経営計画・目標>

1. CO2排出量削減 変更なし
電力では定温倉庫の使用量が大きく占めている。
夏場における消費電力削減の工夫が必要。
- 2.燃費向上 変更なし
燃費やアイドリングストップをドライバー毎に評価できる手段を考え意識向上を図る
状況に応じたアイドリングストップをドライバー毎に評価できる手段を考える。
- 3.廃棄物削減 変更なし
FAX等など紙を媒体とした受注システムをDX化
- 4.水使用量削減 変更なし
洗車時に節水できる高圧洗浄機を利用する。
- 5.環境負荷の低減 変更なし
事故件数は2022年19件に対し15件 減少しているが目標に達成していない。
- 6.環境に配慮した活動 変更なし

<環境関連法規等> 変更なし

<実施体制> 変更なし

【2023年 環境活動に影響を与えた事項】

2023年9月 第8倉庫 減築工事に伴い 水銀灯・蛍光灯をLED化

2023年9月23日 轟木軽油スタンドタンク入替え 使用開始

2023年10月 ふすま倉庫解体